まるごと!西日本

発行：(公財)オイスカ西日本研修センター　まるごと部
福岡市早良区小笠木 678-1
TEL(092)803-0311　FAX(092)803-0322
E-mail: oiscantc@oisca.org　検索 オイスカ西日本

第 682 号
令和 2 年11月号付録

←Facebook に日頃の様子を更新中！
是非チェックお願いします！

故・中野良子総裁を偲ぶ会

10 月 17 日、午前中の雨が昼前より快晴へと変わる中、故・中野良子オイスカインターナショナル総裁を偲ぶ会が開催されました。9 月 11 日に享年 88 歳で老衰のために天寿を全うされ、故人の人生の大部分をオイスカ活動にご尽力いただきました。1974 年にオイスカインターナショナル総裁に就任されてから約半世紀にわたり、多くの国、地域で国の基礎となる青年育成、緑化活動、生活改善他、多岐にわたる国際協力活動を指揮していただきました。

当日は多くの方にご参加頂き、故人が大好きだった綺麗な花に囲まれて、皆様からも静かに献花として頂きました。これからも故人の想いを受け継ぎ、オイスカ活動を継続、展開していきます。支援者の皆様、今後ともお力添え頂きますようお願い致します。故・中野良子オイスカインターナショナル総裁のご冥福をお祈り申し上げます。(廣瀬)

ハートネット 21 宿泊研修

10 月 16 日(金)～18 日(日)まで九州電力総連と九州電力生活協同組合の 9 名が研修センターでの宿泊研修に参加をされました。昨年は台風の影響で研修自体が中止となり、2 年振りの実施となった今年は新型コロナの影響で人数を絞って行われました。センターでは規律訓練、国の紹介、農業実習、ニワトリの解体、料理交流と様々な活動が行われました。集団生活の大切さや、研修生の国の状況、志の高さを理解し、農業やニワトリに解体を通じ、自分が生かされていること、命をいただいていることを学び、様々な交流を通じて研修生とも徐々に打ち解けて楽しい研修となりました。研修中には毎年の寄付金の贈呈式も行われました。残念ながら 11 月に予定されていましたフィリピンへの海外派遣も中止になりましたが、来年以降、継続して支援も考えてくださっています。

センターでの研修にご参加いただき、また多額の寄付金をありがとうございました。（安東）

国の紹介↑

サトイモの収穫↑

寄付金贈呈↑

ご協力ありがとうございます！

（敬称略）

【10 月の新入会】
見村 和嗣　（センター）

【10 月の寄付金】
九州電力生活協同組合、飯川裕基、㈱上村真珠

【10 月の寄付品】
池田浩二、原田明、本村聖華、坂田艶子、㈱ふくや、九州電力総連、進藤國之助、山田哲夫

鬼木大明神　今月の一句

自分の一生はほかでもない
自分が作った道を歩くことだ
自分の道をしっかり定めたら一歩ずつ
その道を前進することだ！
時間と努力なしには
何事も成し遂げることはできない
一生かかってもいい
目標に向かって
生きようじゃないか！！

2020 年度後期国際協力ボランティア研修

国際協力ボランティアとして西日本センターで研修している大垣です。1 年前にボリビアで環境教育ボランティアに取り組んだことがきっかけで、オイスカの NGO・人づくり活動に興味を持ちました。畑もない都会で生まれ育ったため、慣れない毎日の農作業は本当に大変ですが、まずは“自らの人づくり”、「これもいつか世のため人のために役に立つためだ！」と自分に言い聞かせ、日々チャレンジしています。美しい福岡の自然に囲まれながら、将来は一緒に働く研修生たちと力を合わせてもっと頑張りたいです。(大垣)

大垣さん

↑マンゴーハウスにて

チンゲン菜の収穫↑

いちごの定植↑

11 月の予定

1 日　第 13 回 We Love オイスカゴルフコンペ
7 日　第 12 回 オイスカ収穫感謝祭・秋
8 日　大野城市日本語スピーチコンテスト
14 日　朝倉推進協議会役員会
15 日　博多ベイサイドイベント
19 日　佐賀県推進協議会幹事会
26 日　福岡県庁農産物販売会(2 日間)

体験農園だより

今年で 9 年目を迎えるオイスカの体験農園は、コロナの影響で外出を控える家族からの要望もあり、新規の参加者が 5 組加わり、トータルで36組の参加者でスタートしました。

今年の秋冬の野菜の生育状況は、8 月の猛暑日が過ぎて 9 月に入ってから例年より涼しくなったために、虫の被害なども少なくまずまずの生育となっています。農園で作られている野菜は 12 種類あり、全て有機栽培で行われていますが、その中で毎年出来栄えの悪いのがホウレンソウで、毎年葉っぱが小さく黄色くなったホウレンソウの姿を見ては、「有機栽培でホウレンソウをつくるのはすごく難しいのですよ」と言い訳をしています。しかし、今年は珍しく成績がよく、「こんなによく出来たホウレンソウを初めて見た」とちょっと皮肉交じりの嬉しいコメントをいただきました。
これから寒さが厳しくなっていく中で、農園の野菜たちは体内の糖分を高めて冬支度をしています。(豊田)

農場研修風景

秋冬野菜の作付けでは、研修生が農場の運営、マネージメント研修の一環として「研修生個人畑」の管理がスタートしました。8 月から始まったこの研修では、栽培の計画から種まき、定植準備などあらゆる作業を自分で考えて行うため、他の研修生よりきれいな畑、良い成績を見せるために皆一生懸命がんばっています。センターの畑では、ある程度一生懸命作業をしていますが、個人畑となると真剣さと作業の仕上がりが全く違います。その姿勢があまりにも極端だと少し腹も立ちますが、その真剣さをもって作物に接する事、そして頑張って管理をした結果に多くの実りを得ることが出来る喜びなど、小さい面積でも個々に得られるものは大きいです。これからだんだん寒くなる季節、11 月の研修生の個人畑ではキャベツやブロッコリー、ダイコンなどがすくすくと育ち、虫の被害を受けながら収穫の時期を待っています。(豊田)

佐賀国際フェスタ

毎年 10 月は佐賀国際フェスタ月間ということで 1 日～10 日まで佐賀商工会館でオイスカのパネル展が行われました。また、神埼市にあります王仁博士顕彰公園(わにはかせけんしょうこうえん)にて、佐賀国際フェスタのイベントが行われました。コロナ禍の中、今年度の研修生にとりましては初めての外部でのイベント参加となり、会場ではオイスカ佐賀県推進協議会がブースの出店、ステージでは研修生のパフォーマンスとしてフィジーのメケ、インドのダンス、バンブーバンドを披露して、手拍子が起こるなど盛り上がりました。センターとしても毎年行事が重なっていましたので久し振りの参加となりました。研修生もいろいろなブースを回り、各国や地域の料理を食べたり、ブースの方々と話をしてコミュニケーションを取るなど楽しいイベントになりました。(安東)

フィジーのメケを披露しました。

リンゴ狩り

10 月 5 日(月)に佐賀の三瀬村にあるマルヤスりんご園へ視察に伺いました。マルヤスりんご園では秋映(あきばえ)や、つがるなどの数十種類のりんごを育てていらっしゃいます。一本の樹から毎年平均 800 個のりんごが収穫でき、中でも樹齢 40 年の果樹はなんと 1000 個のりんごを収穫できたこともあったそうです！

当日は休園中でしたが、事前に予約してオイスカ貸切りとさせてもらい、途中からはたくさんのお客様が訪れていました。りんごの管理や収穫の方法を教わり、研修生たちは適温や剪定について様々な質問をしていました。

その後、収穫体験をして、りんごを食べさせていただきました。とてもおいしく、3～4個食べて、おなか一杯になってしまいました。PNG のデリックさんは 8 個も食べていました。センターから 20 分ほどで、とても近いのでまた行きたいです！皆様も是非足をお運びください。(飯川)

りんごの栽培についての説明↑

りんごの収穫体験↑

会員さま紹介　株式会社堀内組　想像が創造を生む～HUMAN　INNOVATION～

オイスカに入会したきっかけ　平成 22 年 7 月、九州電力㈱様の紹介でオイスカの活動と理念の崇高さを知ることとなり、日本人として少しでもお役に立ちたいという思いが芽生え、即座に入会を決意した次第です。

オイスカへのメッセージ　近年、社会のグローバル化は更に加速し世界各国との結びつきの中で生かされていると言っても過言ではない時代を迎えております。「人々がさまざまな違いを乗り越えて共存し、自然と調和して生きる世界」を目指して活動するオイスカの理念は、まさしく今後の世界の進むべき方向を暗示しているものと感じております。その理念を具現しているのがオイスカの皆様であり、我々はこれからも出来る限りのサポートをしていきたいと思っておりますので、今後も活動を通した国際貢献を宜しくお願いします。

会社紹介　株式会社堀内組は、佐世保市において(旧)国鉄松浦線建設工事を実施したのを皮切りに、工事実績を積み、地域に貢献すべく努力を重ねながら、昭和 25 年 5 月に現在の会社組織として創業して以来、地域に密着し、地域の繁栄、地域の夢実現を願って事業を展開し今年で創立 70 周年を迎えました。

現在、堀内グループのメイン事業である総合建設業を軸にグループ企業でブルーベリー、マンゴー、オリーブなどを栽培し、生産した農作物を加工・販売する堀内フルーツファームをはじめ、建設廃材をリサイクルし販売するリサイクル部門、ガソリンスタンド、保険代理店など多岐にわたる事業を展開しております。今後も創立 70 周年を節目に心新たに 100 年企業を目指し、社員をはじめその家族の皆様、これまで堀内グループを支えてくださった皆様、また、地域の皆様に感謝しつつ共に歩んでいきたいと考えています。

株式会社堀内組(本社)外観

直営農海産物直売所「よかばい相浦」

【株式会社堀内組】

本社　〒858-0908 佐世保市光町 109 番地

TEL 0956-47-2127　FAX0956-48-5069

代表取締役社長　山下　忠則

URL http://horiuchi-g.co.jp/

【グループ会社】

堀内商事㈱、堀内地研コンサルタント㈱、㈱ウエルフェア佐世保、㈲フロンティアアグリカルチャーながさき、重機建設工業㈱

※社員数　グループ総数 180 名

(2020 年 10 月現在)

フィジーのスバから来ました。
Nokomaivuna Paula です。
ニックネームはパウです。
日本に来る前は自分の畑で野菜を作っていました。

←稲刈りの時の様子

- **フィジーの有名な場所**…フィジーの首都スバとベンガ島です。ベンガ島はファイヤーウォーキングで有名です。熱い石の上を歩きます。ここは観光客がたくさん見に来ます。
- **好きなフィジー料理**…一番すきな食べ物は淡水魚と野菜、キャッサバ、タロ芋を一緒に茹でたものです。
- **好きな日本料理**…日本の料理は全部好きです。
- **趣味**…ラグビーが好きです。
- **帰国後にしたいこと**…センターで３カ月働いたら私のふるさとに戻って自分の畑で有機栽培をしたいです。

OB の紹介

今回は 2017 年度のミャンマーOB 研修生のミャさんを紹介します。

ミャさんは、西日本研修センターに派遣される前は、ミャンマーの農業省に勤務していました。ミャンマーにおけるオイスカの活動は、センターの運営も含め農業省との連携が非常に重要であり、ミャさんが当時西日本に派遣された理由も、将来的にはオイスカミャンマーと農業省との懸け橋の役目を果たすべく大きな期待が込められていました。

ミャさんが西日本研修センターに入所した時の年齢が実は 47 歳で、おそらく今まで受け入れた研修生の中でも最高齢ということで、日本語の習得や体力的にも他の研修生と一緒に進めていくことは厳しいのではないかと思われました。しかし、そのような心配は全くなく、持ち前の明るさとパワーで他の研修生を引っ張っていく存在になっていました。

そんなパワフルな女性ミャさんにインタビューをしましたのでご覧になってください。

1. 西日本の研修はどうでしたか？

私は農業や日本語の研修がとてもよかったです。そしてブドウ栽培の勉強や外部研修では種の会社で勉強したこともよかったです。

一番右がミャさん ←

2. ミャンマーに帰ってから何をしていましたか？

私はオイスカチャウマジの研修センターのコーディネーターとして、研修の運営やスタッフへの指導、CFP の活動も行いました。そして、今年になってから農業省の職員として、オイスカとの関係を続けながら、私がやりたかった農家さんへの農業普及の仕事をはじめています。

3. 最後に会員の皆様へ何かメッセージを

私達研修生のためにいつもサポートをしていただき有難うございます。ホームスティの体験や、交流会への参加など楽しい思い出をたくさんいただきました。

以上ミャさんのインタビューを紹介しました。これからも更なる活躍が期待されるミャさんに、温かい応援を宜しくお願いいたします。

研修生の紹介

メキシコのプエブラから来ました。FLORES ANDRADE JUDITH です。ニックネームはジュディです。日本に来る前は障害のある方をなどを対象に水耕栽培の指導や地域開発プロジェクトのコーディネーターとしてオイスカメキシコで働いていました。

←ジュディさんが手作りしたメキシコで有名な女性(フリーダカーロ)の人形

- **メキシコの有名な場所**…メキシコシティにあるベジャスアルテスというオペラハウスや、ユカタン半島にあるセノーテという自然の泉が有名です。
- **好きなメキシコ料理**…チレエノガダとチラクイレスがとても好きです。チレエノガダは大きな唐辛子の中に肉、桃、バナナとアーモンド、レーズンを入れて、上にチーズとミルクとザクロをかけます。
- **好きな日本料理**…たこ焼き、てんぷら、納豆、みそ汁が好きです。
- **趣味**…私は刺繍が好きです。子供の時に学校で習いました。科学の本を読むことも好きです。

ベジャルアルテス

セノーテ

チレエノガダ

チラクイレス

おかさぎ観光ひかり保育園イモほり交流会

10月15日、ひかり保育園（早良区内野）の園児とのイモほり交流会が行われました。

当日は園児22名と引率のスタッフ11名が参加をされ、清々しい秋晴れの中、農場で育ったイモを園児たちと一緒にスコップで掘りました。園児たちはあまりにも大きなイモを手に取り驚くなど、収穫体験を楽しんでいました。今回はじめての交流会でしたが、和やかな雰囲気の中たくさんのイモを収穫できました。ひかり保育園さんには交流会で採れた芋100キロをご購入いただきました。 園長先生はじめスタッフ、園児のみなさんお疲れさまでした。（満川

収穫祭で芋ほり体験が出来ます！ぜひお越しください！

保育園児とのイモほり交流会 【さざなみ保育園（長崎県）、若竹保育園（春日市）】

10 月 26 日（月）、すがすがしい秋晴れの下、長崎県佐々町にある、さざなみ保育園の児童約 20 名と一緒に、佐々町の農業体験施設が管理している農園で、サツマイモの収穫体験を一緒に行いました。農園の代表の方からイモの掘り方の説明を受け、児童は軍手をはめた可愛い手で一生懸命にサツマイモを掘りました。研修生もそのサポートをしっかりして、「うわ一大きいね、がんばったね」と優しく声をかけながら楽しく作業を行いました。30 分程度でイモほりは終了し、その後場所を変えて研修生から歌の披露や国の紹介、お弁当をいっしょに食べて交流会は終了しました。短い時間でしたが、研修生との別れ際に子どもたちが名残惜しそうに見送る姿が印象的でした。交流会の後は、オイスカ長崎県推進協議会の山下会長の計らいで、マンゴーハウスとブルーベリーハウスの農園見学をさせていただき、しっかりと勉強して帰ってきました。（豊田）

10 月 28 日（水）には、春日市にある若竹保育園の園児約 20 名が参加をして、センターの畑でイモほり交流会が行われました。例年ですとこの保育園では、6 月の田植えから 10 月の稲刈り体験と、イモほりだけでなく季節を通じて様々な体験をしているのですが、今年はコロナの影響で今まで行っていたイベントが中止となり、今回ようやくイモほりの体験が出来て、子どもたちも大喜びで収穫をしていました。収穫を終えた園児は、焼き芋づくり体験や積み木遊びなど楽しい時間を過ごし、大満足の 1 日となりました。（豊田）

たくさん収穫しました！！

マンゴーハウスの見学↓

日本語の様子⑥

10 月からは 1 週間に 1 回、半日の授業で、新しい文法と日本語能力試験の勉強をしています。先日、模擬試験を行ったところ、全員合格できるレベルまで上達をしていました。ただ、合格点ぎりぎりの人もいます。漢字やことばをコツコツと丁寧に覚えている人は、文字語彙のテストで高得点が取れています。例年、聴解は日々の生活の中で鍛えられているので、得点が取れますが、苦手な人もいます。一人一人の得手不得手を把握して、指導していきたいです。

A クラスでは、「くださいました」「いただきました」を勉強しました。今まで、多くの人にお世話になりましたね。と作文をさせると、所長にアイスクリームをいただきました。オイスカメンバーにマスクをいただきました。豊田先生が農業を教えてくださいました。マルビン先生がスーパーへ連れて行ってくださいました。食堂のお父さんがご飯を作ってくださいました。デリック先生がお風呂の入り方を教えてくださいました！　…と、たくさんの文を作ることができました。日々の生活が多くの人の支えで成り立っていることを感じた時間でした。

日々感謝の気持ちで！頑張れ！研修生！（立石考子）

A クラスのみんな

修了書授与

メキシコ研修生帰国

メキシコ研修生のジュディさんとマーティンさんが 10 月 27 日にセンターを旅立ち、成田と仁川経由で 29 日に無事に帰国しました。メキシコは世界的に見てもコロナウイルスの感染者が多く、2 人は家族のことを心配していました。メキシコへのフライトは 10 月中はありますが、11 月以降はないかもしれないことが分かり、早めに帰国することになりました。

先月に引き続き今月も外部研修があり、研修生全員が揃う日がほとんどありませんでしたが、10 月 18 日にみんな揃って、送別会をして、その中で修了書を授与しました。送別会ではみんなで踊ったり、日本語の授業の時に習った「ひまわりの約束」と「負けないで」を歌いました。寂しい気持ちはもちろん、2 人ともアクションプランのことをいろいろ考えて頭がいっぱいな様子でした。アクションプランのプレゼンは出発の前日になんとか完成し、皆の前で発表することが出来ました。2 人の発表を聞いた後にはスタッフや研修生から「アクションプランを行う上で一番の問題はなんですか？」「センターで一番勉強になったことはなんですか？」「帰国後に一番最初に取り組みたいことは何ですか？」と質問がでました。今年はコロナの影響で心配事が多かったですが、体調を崩すことなく元気で研修に取り組めました。2 人が無事に帰国できて良かったです。コロナがもう少し落ち着いたら、2 人から活動報告が来ることを楽しみにしています。(園田)

オイスカメキシコのスタッフとして植林や農業の普及活動をします。菌床しいたけの栽培を自宅の敷地でしたいです。(ジュディ)

アボカドや祭りで使うマリーゴールドとケイトウの栽培をしたいです。オイスカメキシコの活動も続けたいです。(マーティン)

研修センター出発前の記念撮影

外部研修の受け入れをして下さった皆様、ありがとうございました！

ハートフィールドさかもと（東峰村)9/30～10/8

機械の修理の仕方を勉強しました。以前は機械のことは全然知りませんでしたが、いまはコンバインのことが分かります。新しい勉強ができて良かったです。(ジョー：ミャンマー)

ハートフィールドさかもと（東峰村） 10/8～10/15

コンバインやトラクターの修理と掃除、オイル交換をしました。私はインドで機械の勉強をしていましたからとても面白かったです。ここで修理の仕方も勉強できました。坂本さんはとても優しくて私の家族みたいです。

(ニプン：インド)

ハートフィールドさかもと(東峰村) 10/19～10/24

新しい機械のチェックや修理をしました。しいたけの勉強も少ししました。機械の勉強は初めてで面白かったです。いい勉強になりました。

(マックス：パプアニューギニア)

宝珠山きのこ生産組合（東峰村） 10/19～10/24

栽培で使うブロック作りや、きのこの収穫をしました。ブロックは 1 日にだいたい 650 個作ります。インドと日本のきのこは全然違うので驚きました。研修先の言葉はセンターと違ったので、少し難しかったけど面白かったです。(テンジン：チベット)

八江農芸（長崎）　10/22～10/30

種を作ること、交配の勉強、土の実験などをしました。メロン、チンゲンサイ、タマネギ、ナスの管理などもしました。それぞれの野菜にどんな肥料を使うかを勉強しました。いろいろな勉強ができました。(パウ：フィジー)

八江農芸（長崎）　10/22～10/30

どんな種、土、肥料を使うといい野菜や花ができるのか実験ができて面白かったです。水が少ないと甘いスイカ、水が多いとあまり甘くないスイカができます。土の ph や成分(窒素、リン酸、カリウム)などがどのくらいあればいい野菜や花ができるか会社の人たちはみんな分かるのでいいものができます。ここでたくさん勉強ができました。(ニャマ：モンゴル)